

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	乳幼児等保健相談事業の推進		所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	乳児等保健相談事業			事業番号	1101	
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	1	連番	35

R3年度

Goal(目標)	母子ともに安心して子育てができる環境づくりを構築し、育児仲間の繋がりを図ることができる。					
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 智頭町で母子ともに安心して健やかに育つことができるように支援をするため乳幼児健診、離乳食講習会などを開催する。 ・ 赤ちゃん訪問、フォロー対象家庭の訪問、面談や電話相談を随時行う。 					

R3年度

Do(実行)	R3実績額					805,284円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	乳児健診受診率	%	100	100	97.7	98%
②	離乳食講習会参加率	%	53.3	70.0	64.3	121%
③	家庭訪問延人数	人	34	35	38	112%
実施内容 ・ 乳児健診（3～4か月児健診、6～7か月児健診、9～10か月児健診）実施。未受診者は全員理由を確認、ほぼ全員、次回の乳児健診時に受診。 3～4か月児健診、9～10か月児健診は、集団健診、医療機関健診ともに実施。6～7か月児健診は、集団のみ。 ・ 2か月に1回（年6回）離乳食講習会を実施。各乳児健診で栄養相談を実施。 ・ 出産した全家庭、及びフォローの必要な家庭に家庭訪問を実施。その他、子育て支援目的で面談・電話相談を実施（面談延27名、電話延56名）						

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題 ・ 健診未受診者がいた場合は必ず理由を把握している。多くは体調不良や都合が悪いため、次回の健診時に受診するケースがほとんどである。 ・ 子どもの発達や家庭背景などに支援が必要なケースは訪問や電話相談、面談を実施し、必要時関係機関と連携して対応している。 ・ 実施を見合わせていた子育て講座は、3月に歯や口腔の健康に関する講話を子育て支援センターと連携して実施した。 ・ 離乳食講習会は、1回の対象人数を少なくすることで、きめ細かに保護者のニーズに応えることができている。						

R3年度

評価	B
----	---

担当課長評価

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

評価理由： 未受診者の把握やフォローに努め、対象者に寄り添った対応を行っている。

R4年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き健診受診率100%を目標に、集団健診の毎月開催と、医療機関健診を併用し、保護者が受診しやすい体制を継続する。 ・ フォローが必要な家庭には、積極的に訪問や相談活動を行い、関係機関との連携も引き続き密に行う。 ・ 自分の健康は自分で守る、という意識を育てるため、年中・年長児に対して健康教育（食育）を実施する。 ・ 子育て支援センターと連携し、離乳食講習会や子育て講座を通して、母子の健康づくりや子育て支援を継続する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	幼児健康診査事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3,11
事業（細目）名	幼児健康診査事業	事業番号	1845		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	2	連番

R3年度

Goal(目標)	母子ともに安心して子育てができる環境づくりを構築し、育児仲間の繋がりを図ることができる。
Plan(事業概要・計画)	<p>智頭町で母子ともに安心して健やかに育つことができるように支援をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診、5歳児発達相談の実施。 ・健診後、フォローが必要なケースは、保育園等関係機関と情報共有しながら、保護者の相談に応じる。

R3年度

Do(実行)		R3実績額			699,386円	
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	1歳6か月児健診	%	97.2	100	80.8	83%
②	2歳児歯科健診	%	94.1	100	92.9	99%
③	3歳児健診	%	97.0	100	102.6	106%
実施内容		<p>・母子保健法に基づき、1歳6か月児健診と3歳児健診を年4回ずつ実施。未受診者がいた場合は理由を確認。次回健診日に受診することがほとんどである（次回受診日が翌年度になる場合があり、年度内実施率は100%とならない場合がある）。</p> <p>・智頭町は幼児の虫歯罹患率が高いため、歯科保健対策強化の一環として、2歳児歯科健診を令和元年度から単独実施し、歯科健診に加えて、歯科衛生士による講話と歯科指導、フッ化物塗布を実施、令和2年度からは管理栄養士による講話も取り入れて充実した内容としている。</p>				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<p>・新型コロナウイルス感染予防のために健診を欠席していただくようお願いしたケースが多々あり、1歳6か月児健診の年度内受診率は低いが、R4年度に受診していただく予定である。</p> <p>・健診で異常なしとなっても、その後にフォローが必要となるケースや就学後に課題が発生するケースがある。健診後の相談体制を整備する一環で、県立発達障がい者支援センターに依頼し、保護者面談を新規に開始した。</p> <p>・以前は受診者の少なかった2歳児歯科健診も、近年は受診者が増えている。今後も普及啓発活動を継続・強化する。</p>				

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 歯科健診を含め、100%に近い受診率を達成している。				

R4年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	<p>・健診未受診者の保護者に未受診理由を確認、また健診の必要性を伝え、受診率100%を目標とする。</p> <p>・健診後のフォローを充実し、支援の必要な幼児を早期に適切な機関に紹介するため、引き続き、発達障がい者支援センターの保護者面談を継続するとともに、保育園・教育委員会とも引き続き密に連携していく。</p> <p>・虫歯罹患率の低下に向けて、引き続き啓発活動を充実させていく。</p> <p>・弱視の早期発見のため、屈折検査機器による視覚検査を令和4年度から導入する（国庫補助あり）。</p>

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	安全安心な学校給食の提供	所属	給食セター	SDG s	1・2・4
事業（細目）名	学校給食費 / 食育推進事業	事業番号	1215 / 1869		
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	①健康	事業番号	3	連番

R3年度

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	<p>1. 日常生活における食事について、正しい理解と習慣を養い、学校生活を豊かにし、学校給食を通して明るい社交性を養う。</p> <p>2. 学校給食に使用する食材の点検及び職員の健康チェック（毎日）</p> <p>3. 職員の健康チェック（毎日）</p> <p>4. 衛生管理の徹底（職員の検体：月2回）</p>

R3年度

Do(実行)		R3 実績額		49,961,000円		
	活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	学校給食（小学校）	回	183	183	183	100%
②	学校給食（中学校）	回	174	174	174	100%
③						
実施内容	<p>小中学校との綿密な連携のもと、年間を通して安定的な学校給食を提供できる体制を整える。</p>					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>大きな事故、食中毒等もなく、安全で安心な給食が提供できた。今後も、衛生管理には、十分気をつけ、安全で安心な給食を提供できるよう努める。</p>					

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 子どもたちのニーズや栄養バランスなど食育を意識した給食の提供がなされている。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<p>大きな事故、食中毒等もなく、安全で安心な給食が提供できた。令和4年度も、衛生管理、職員の体調管理には十分気をつけ、安全で安心な給食を提供できるよう努める。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	調理機器等の計画的な更新	所属	教育課	SDG s	3・12	
事業（細目）名	学校給食費	事業番号	1215			
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	①健康	事業番号	4	連番	38

R3年度

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	<p>1. 調理機器の整備（年1回業者に委託）</p> <p>2. 釜5個を計画的に更新する。</p> <p>3. 調理機器を購入して15年経過していることから、不具合が生じた機器から更新を実施していく。</p>

R3年度

Do(実行)	R3 実績額	21,411,000円			
活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
① 調理機器の点検	回	1	1	1	100%
② 釜	個	1	1	1	100%
③					
実施内容	毎年、調理機器の点検を年1回実施。				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	給食用設備の経年劣化により年次的に維持管理が困難となっている。					

R3年度

R3年度	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 調理機器等の点検・メンテナンスを適正に行い、給食供給体制を維持している。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<p>経年劣化が進む調理器具を点検・メンテナンスし、長寿命化に努めるとともに、定期的な更新を行い、安定的に給食が提供できる安心した体制を整える必要がある。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	中学校の部活動の充実	所属	教育課	SDG s	4
事業（細目）名	中学校教育振興事業/事務局費	事業番号	1188/1382		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	7	連番

R3年度

Goal(目標)	中学生がよりよい環境で部活動を行えるようにする。
Plan(事業概要・計画)	<p>マイクロバスおよび普通乗用車の運行、管理を行う。</p> <p>部活動の大会、遠足などの送迎を行い、事業の手助けをする。</p> <p>部活動指導員・外部指導者を配置し、専門的な技術指導を行う。</p>

R3年度

Do(実行)		R3 実績額			4,814,000円	
	活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	使用回数	回	60	75	80	133%
②	総乗車人数	人	1190	1600	1800	151%
③	部活動指導員・外部指導者数	人	5	5	5	100%
実施内容	<p>申請に応じて部活動の大会、遠足などの送迎を行う。今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため回数、利用者数が大きく減少している。</p> <p>希望がある部活動について、国・県の補助金を活用しながら指導員・外部指導者を配置する。</p>					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため回数、利用者数が大きく減少していたが、感染症の広まりが落ち着いてくるとともに利用が増加している。</p> <p>指導員・外部指導者を配置した部活動では技術力が向上し、県大会等への進出も多くみられる。</p>					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：				

R3年度

Action(改善)	
	<p>R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画</p> <p>マイクロバス運行については、運営形態を見直し、より効率的な人員配置、運用方法を検討する。</p> <p>外部指導者については、単独指導・引率が可能な指導員への転換を視野に学校・指導者さんと調整を行う。</p>

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	食育の推進	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	健康教育事業	事業番号	1109		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	8	連番

R3年度

Goal(目標)	食育の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次智頭町食育推進計画を評価し、第二次計画の策定を行う。 ・ 学校給食を生きた教材とし、未来を担う子どもたちに正しい食教育を行う。 ・ 栄養教諭等の専門職のいない保育園の園児を対象とした健康教育を月に1回開催する。

R3年度

Do(実行)	R3実績額					217,954円
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	食育推進計画策定に係る会議の開催	回	0	4	4	-
②	学校給食の提供	人	419	416	416	99%
③	食育推進事業の実施	回	2	12	12	600%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次食育推進計画評価のためのアンケートを実施し、プロジェクトメンバー、食育推進委員会で協議を行う。 ・ 地産地消、郷土料理、行事食などを提供し、給食を生きた教材として子どもたちに食教育を実施。 ・ 保育園の年中児、年長児を対象に、毎月1回ずつ健康な身体と歯をつくる健康教育を実施。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次計画の評価を行い、第二次計画を策定済み。町ホームページ、町報に掲載して周知を行った。 ・ 教育現場で食育を実施することで、子どもだけでなく保護者への啓発にもつながっている。 					

R3年度

評価	A
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	A
----	---

評価理由： アンケートでの評価と計画策定により、事業の見直しと次に繋がる連携が出来た。

R4年度

Action(改善)	<p>R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次食育推進計画では、毎年、各関係課で事業評価を行う。 ・ 保育園での健康教育について、年中児と年長児では理解力に差があるため、内容をそれぞれに合わせたものに改善して実施する。
-------------------	---

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談・家庭訪問の充実	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	健康相談事業	事業番号	1108		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	9	連番

R3年度

Goal(目標)	町民の健康づくりを支援する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・電話、来所、集会などの場での健康相談（随時） ・肝炎ウイルス検査での陽性者への定期検査の受診勧奨と状態把握。

R3年度

Do(実行)	R3実績額					5,000円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	電話相談	件	30	40	33	110%
②	来所相談	件	50	20	19	38%
③	肝炎ウイルス陽性者定期検査受診勧奨	件	47	48	48	102%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・電話相談、来所相談（随時） ・ひまわり会や老人クラブなどでの相談（随時） ・肝炎ウイルス検査陽性者（48名）への受診勧奨通知。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症のため集まることが少ない。 ・昨年度事業のフォローとして来所相談を行っている。 ・ 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： コロナ禍で出来る限りの相談に応じている。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の相談をしっかりと対応していきたい。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談・家庭訪問の充実	所属	福祉課	SDG s	3,11	
事業（細目）名	健康教育事業	事業番号	1109			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	9	連番	42

R3年度

Goal(目標)	生活習慣病の発病予防、重症化予防
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防教室やOB会「ブルーリボンの会」の実施（10回） ・ウォーキング教室の開催（1回）、各地区健康ウォークの開催（6回） ・食生活改善推進員養成講座の開催（5回）

R3年度

Do(実行)	R3実績額					192,015円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	糖尿病予防教室の開催	延人	0	80	80	—
②	OB会「ブルーリボンの会」の開催	延人	36	30	0	0%
③	ウォーキング教室の開催	延人	191	100	207	108%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防教室は試食は中止とし、講義と実技・演習による教室を開催した（年7回 延80名）。 ・ブルーリボンの会は中止とし、対象者に自主学習のための教材やレシピを配布した（51名に配布）。 ・ウォーキング教室は中央での教室の開催と、各地区での健康ウォークを開催した（7回 延207名）。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防教室は感染リスクのある試食を省いて実施したが、参加者からは食べてみたかったという意見もあったため、次年度は安全かつ可能な方法で実施する。 ・養成講座については、今年度は講義のみ行い、次年度に感染対策を講じたうえで調理実習を行う。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： コロナ禍の中で感染対策に努めながら出来る範囲での教室実施が出来た。				

R4年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防教室の対象者はリスクの高い者を優先し、コロナウイルス感染対策を講じたうえで来年度も実施。 ・調理実習ができない場合を想定して、栄養教育の内容を検討する。 ・食生活改善推進員の減少、高齢化の課題を解決するため、養成講座を開講して新たな会員を獲得する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談・家庭訪問の充実		所属	福祉課	SDG s	3,11
事業(細目)名	健康診査事業			事業番号	1110	
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	9	連番	42

R3年度

Goal(目標)	主に生活習慣病の発病予防、早期発見、重症化予防を目指す。					
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・40歳以上の国保加入者に対し特定健診、一定年齢以上の町民に対しがん検診を実施。 ・40歳～69歳の町民に対し人間ドックを実施。 ・40歳～59歳の町民に対し脳ドックを実施。 					

R3年度

Do(実行)	R3実績額					23,111,076円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	肺がん検診受診率	%	31.3	32.0	32.0	102%
②	胃がん検診受診率	%	24.7	27.8	26.1	106%
③	肝炎ウイルス検査受診者数	人	69	70	67	97%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・受ける機会を持ちやすいように、医療機関での個別健診と集団でのセット健診を実施。 ・いずれの健診も無料で受けることができる。(人間ドックと脳ドックは個人負担あり) ・対象者を絞って未受診者勧奨通知を発送。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症のため、受診控えの傾向があり、検診全体で受診率が減少している。 ・乳がんを除き、集団検診の受診者数が減少している。 ・医療機関での検診受診者数もR2年よりは増加しているが、R1年と比較すると減少。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： コロナ禍での受診控えもあり、受診率向上は難しいが、未受診者対策は行えた。				

R3年度

Action(改善)						
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画						
<ul style="list-style-type: none"> ・進行癌での発見にならないように受診勧奨をしていく。 ・未受診者勧奨は毎年しているが、さらにしっかりと個別での受診勧奨をしていく。 ・個々の状況をみて、もっと受けやすい受診体制を検討していく。 						

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談・家庭訪問の充実	所属	福祉課	SDG s	3,11	
事業（細目）名	訪問指導事業	事業番号	1114			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	9	連番	42

R3年度

Goal(目標)	町民の健康づくりを支援する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・食事指導や特定保健指導勸奨のため訪問（随時） ・健診事後フォローのための訪問（随時） ・がん検診の精密検査受診勸奨のための訪問（随時）

R3年度

Do(実行)	R3実績額					497,731円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	食事指導や特定保健指導勸奨、健診事後フォロー	件	23	40	67	291%
②	がん検診の精密検査受診勸奨のための訪問	件	74	45	38	51%
③	高齢者保健事業（重複頻回、低栄養など）	件	1	20	14	1400%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の結果により、訪問して個々にあった食事指導を行う。（随時） ・特定健診を受けた後のフォローや、特定保健指導が必要と診断された人への利用勸奨のための訪問（随時） ・各がん検診の結果、精密検査となった人に訪問して、説明、受診勸奨を行う（随時） 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症のため、受診率が減少の影響もあり、訪問対象者も減少している。 ・訪問して説明することで、必要性などの自覚を促すことが出来ている。 ・コロナ感染対策で行動制限がある時は訪問も重点部分のみ行った。（電話でフォロー） 					

R3年度

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由： 個にあった指導を訪問することで実施することが出来ている。

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問することで強く自覚を促すことが出来るので、必要に応じて実施。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	介護予防事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3、11	
事業（細目）名	介護予防普及啓発事業	事業番号	2038			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	10	連番	43

R3年度

Goal(目標)	介護予防の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の一環として、認知症予防のため脳の健康教室の開催

R3年度

Do(実行)	R3実績額		1,290,348円			
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	脳の健康教室参加実人数	人	24	25	22	92%
②						
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・くもん式脳の健康教室を9/7～11/30と、12/7～3/8までの2クール実施。 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・1クール目は、16人申込みあり、11人が終了。2クール目は、14人申込みあり、11人が終了。11人の内2名は、1クール目からの継続、楽しく通われており毎日の日課となっていた。 ・運営に携わる学習サポーターとの意見交換も積極的に行うことができた。 ・2クール終え参加者の満足度は高く、教室卒業者が参加する「いきいき脳元気教室」に参加する人は、8人いた。 ・各地区で実施している介護予防教室は、地区によっては参加者が少ない地区があるため、参加者の募集等、運営方法の検討が必要である。 				

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由 ：認知症予防の取り組みとして、参加者の満足度が高い。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・脳の健康教室は、通常、1クール半年で実施していくもので、3ヶ月では効果を十分に得ることが難しく、評価も困難である。R4は、2クール開催の教室を1クールに減らした分、1クールを1ヶ月延長の4ヶ月とし、2ヶ月目頃に中間評価として参加者、サポーター間で交流を図れる場を設ける。 ・各地区での体操教室の参加者増を目指すため、新規で介護予防教室を3ヶ月1クールとして実施。60～65歳の人へ個別通知をし3ヶ月間プログラムに励み、教室で得た知識や技術を各地区で展開してもらう。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	介護予防事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3、11	
事業（細目）名	地域リハビリテーション活動支援事業	事業番号	2040			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	10	連番	43

R3年度

Goal(目標)	介護予防の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で定期的に介護予防教室を開催 ・いきいき百歳体操の普及啓発 ・住民及びサービス事業所への理学療法士による助言・指導

R3年度

Do(実行)	R3実績額				1,762,865円	
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	元気にすてっぷフォロー教室参加延人数	人	2353	2734	2496	106%
②	いきいき百歳体操実施箇所数	箇所	16	18	18	113%
③	住民及びサービス事業所への助言・指導延件数	件	14	16	6	43%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で介護予防体操教室を開催（月2～4回）。 ・いきいき百歳体操実施グループに対し、理学療法士が半年に1回定期指導を実施。 ・住民及びサービス事業所に対し、理学療法士からの助言・指導を実施。 				

R3年度（11月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を休止した時期もあったが、感染予防に努め、定期的に運動指導員による教室開催や理学療法士の指導が行え、住民の活動量だけでなく活動意欲や身体機能向上にも繋がった。しかし、警報発令中の間は、病院からの理学療法士の派遣が中止となったため事業自体ができなかった。オンライン等使って代替案を検討していく必要がある。 				

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：専門職の視点をいかすことができしており、介護予防に効果的な事業である。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防体操教室は、若干、実施場所と回数の変更を行う。引き続き、参加者を増やすための普及啓発を工夫する。町としても教室の意義等を住民に啓発していく。保健事業と一体的に実施することも検討する。 ・いきいき百歳体操については、新規に取り組むグループの開拓を行い、評価の体制の再構築を図る。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	介護予防事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3、11
事業（細目）名	重層的支援体制整備事業(介護・地域介護予防活動支援事業)	事業番号	2105		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	10	連番

R3年度

Goal(目標)	地域における介護予防活動の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防活動の地域展開を支援。 ・認知症予防のための教室開催支援。 ・森のミニデイ、集落ミニデイの実施（委託）。

R3年度

Do(実行)		R3実績額		9,329,113 円		
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	いきいき脳元気教室参加延人数	人	828	956	1254	151%
②	森のミニデイ実施箇所	箇所	6	6	6	100%
③	集落ミニデイ実施箇所	箇所	37	37	37	100%
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の通いの場（森のミニデイ・集落ミニデイ）の運営を地区振興協議会や社会福祉協議会に委託。 ・いきいき脳元気教室の開催支援。 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週通え、みんなで顔を見合わせ話ができる場があることを喜んでいる方が多く存在している。 ・脳元気教室の宿題を毎日することが日課となり定着化し、住民の介護予防に大いに貢献していると考える。 ・介護予防に資するボランティアの育成及び活動が必要だが、検討が進んでいない。 				

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 介護予防活動支援をより効果的に行うため、介護予防ボランティアの活動が必要である。				

R3年度

Action(改善)	
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画 <ul style="list-style-type: none"> ・いきいき脳元気教室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮すると1会場では手狭になってきたため分散が必要。R4は、週の開催日を1日増やし、参加人数を分散させる。 ・より智頭町らしい介護予防活動の地域展開を進めるため、関係機関・地域住民とともに検討を行う。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	介護給付費の適正化事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3、11	
事業（細目）名	介護給付費の適正化事業の推進	事業番号	1893			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	11	連番	44

R3年度

Goal(目標)	介護給付費の適正化
Plan(事業概要・計画)	<p>保険者から受給者本人（家族含む）に対して、事業者からの介護報酬の請求及び費用の給付状況等について通知することにより、受給者や事業者に対して適切なサービス利用を普及啓発するとともに、自ら受けているサービスを確認し、適正な請求に向けた抑止効果を上げる。（年に2回送付。通知対象者は介護サービス受給者から国保連合会が抽出。）</p>

R3年度

Do(実行)	R3実績額					50,489円
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	介護給付費通知対象者	件	937	1060	953	102%
②						
③						
実施内容	<p>・受給者本人（又は家族）に対して、サービスの請求状況及び費用等についての通知を送付。</p>					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>介護給付費通知は、発送時の手間が膨大であるにもかかわらず、具体的な効果については不透明な状況にあるため、その効果をどう分析していくかが課題である。また、わかりやすく効果的な介護給付費通知となるよう記載内容や抽出内容等を検討するとともに、効果や課題を把握し改善点をとらえ実施していく必要がある。</p>					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 介護給付の適正化のため、国の指針にも基づく必要な事業である。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<p>・通知内容や発送回数及び時期を確定させ、作業効率を高める方法を構築するよう検討を進める。</p> <p>・受給者へ確実に周知されるよう「給付費通知の見方」や「介護保険制度の案内」等を同封するなど、効果を高める方策を検討する。</p>

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康づくりを目指した健康ちづ21の見直し	所属	福祉課	SDGs	3,11
事業（細目）名	健康教育事業	事業番号	1109		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	12	連番

R3年

Goal(目標)	正しい知識を普及啓発し、生活習慣病の発病予防、重症化予防を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブやミニデイなどでの講話（随時） ・町保健衛生委員会の開催 ・中学校で思春期教室の開催 ・食育推進計画の改定や健康ちづ21の中間評価として、住民を対象としたアンケート調査を実施。

R3年度

Do(実行)		R3実績額				53,553円
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	老人クラブ等での健康教育	延人	458	450	167	36%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブやミニデイなどでの講話。 ・中学校で思春期教室の開催。 ・住民を対象としたアンケート調査。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保健衛生委員研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、資料配布等で啓発活動を実施した。 ・老人クラブでの健康教育を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 					

R3年度

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	C
----	---

評価理由：コロナの影響で実施出来ないものも多かったが、調査は実施出来た。

R4年度

Action(改善)	
	<p>R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ等での健康教育や保健衛生委員の研修は社会情勢を踏まえ実施を検討する。 ・広報を利用して、健康ちづ21の中間評価結果を啓発

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康に対する意識の高揚を図るための啓発推進	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	健康相談事業	事業番号	1108		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	13	連番

R3年度

Goal(目標)	正しい知識を普及啓発し、生活習慣病の発病予防、重症化予防を目指す。
Plan(事業概要・計画)	広報誌、告知端末、ホームページなどの様々な媒体を活用した啓発。（随時）

R3年度

Do(実行)	R3実績額			15,146円		
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	集団健診広報誌掲載回数	回	10	9	9	90%
②	新型コロナウイルス関連（広報誌・告知端末）	回	70	30	30	43%
③	その他健康に関すること	回	14	14	14	100%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ほのぼののそよかぜ通りにおけるポスター掲示やパンフレットの配布。 ・広報や告知端末を利用したの情報啓発。 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・今年は感染症対策より予防接種に関することを中心に啓発をした。 ・予防接種に関しては日々変化があり、広報よりは告知端末を利用する機会が多かった。 ・告知端末のない家もあるので防災無線の要望もあり、数回は行った。 				

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 広報等の情報媒体を使用し、出来る限りの啓発に務めていた。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・健康に関する情報を積極的に行う。 ・告知端末や広報以外の高齢者への啓発方法をさらに検討。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康増進のためのセラピーロードの活用	所属	山村再生課	SDGs	12,15
事業（細目）名	森林セラピー事業	事業番号	1896		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	14	連番

R3年度

Goal(目標)	森林セラピーの普及啓発及びプランの実施検証。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・森のガイド養成講座・ガイドフォローアップ講座を開催する。 ・町福祉課や各地区振興協議会等と連携し、森林セラピーの利用を推進する。

R3年度

Do(実行)		R3実績額	1,570,574円			
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	森のガイド養成講座・ガイドフォローアップ講座開催	回	12	12	6	50%
②	町民セラピーデー開催	回	6	8	1	17%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・山郷地区振興協議会へ山郷地区民向けの横瀬渓谷コースお披露目イベント開催経費、環境整備費として補助金を交付。 ・土師地区振興協議会へ鳥取県民向けウッドチップ敷設イベント開催経費、環境整備費として補助金を交付。 ・町民の森林セラピーガイド料を無料とし、利用を促進。 ・町福祉課と連携して健康ポイント事業を実施。 				

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、計画通りにイベントが実施できなかった。 ・町民セラピーデー（無料）は利用者が固定化しており、新たな顧客の獲得に向けたアプローチが必要。 				

R3年度

評価	B		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	B	評価理由： 町民の利用者が固定化しており、新たな顧客獲得に向けたアプローチが必要。					

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どものレクリエーションに最適な天木森林公園コース、福祉のロードとして車椅子が利用できる横瀬渓谷コースをPRし、町民の利用を促進する。 ・町福祉課と連携して、健康ポイント事業を継続する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	看護師確保対策の強化	所属	智頭病院	SDG s	3
事業（細目）名	看護師奨学金制度	事業番号			
総合計画	基本理念	安全安心に暮らせる健康長寿なくらし			
	視点	健康	事業番号	15	連番

R3年度

Goal(目標)	奨学金活用者の看護師免許取得や入職に結びつける。
Plan(事業概要・計画)	看護学校等在学者への新規奨学金利用の呼びかけと、現受給者への支援継続。

R3年度

Do(実行)		R3実績見込額		535,000円		
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	新規奨学金受給者	人	0	4	0	-
②	継続奨学金受給者	人	1	2	1	100%
③	智頭病院就業者	人	1	2	1	100%
実施内容	新型コロナウイルス感染拡大により、PRの機会が減少。 看護師養成機関に対しパンフレットを配布。					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	既就業者が看護師資格を取得するなどの成果が出ている。 学生の新規受給の申し込みがない状況である。					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 資格取得や新規入職に寄与している。				

R3年度

Action(改善)						
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画					
	看護学校在学生への奨学金利用の呼びかけと、東部の高等学校への奨学金制度のPRにより新規利用を募る。					

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	医療設備・機器の整備	所属	智頭病院	SDGs	3
事業（細目）名				事業番号	
総合計画	基本理念	安全安心に暮らせる健康長寿なくらし			
	視点	健康	事業番号	16	連番

R3年度

Goal(目標)	医療設備・機器の計画的な整備・更新
Plan(事業概要・計画)	中央監視装置更新、眼科用機器更新、手術室無停電電源装置更新、高圧受電VCS更新

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額			56,006千円		
活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)	
①	%	78	78	78	100%	
②						
③						
実施内容	中央監視装置更新、手術室無停電電源装置更新、高圧受電VCS更新、デジタル超音波診断装置 DICOMコンバータ、内視鏡スコープ、サーモグラフィカメラ、往診用電子カルテ拠点間閲覧システム ほか					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	順次機器の更新を行うことが出来ている。					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 必要な機器の整備と更新を行うことが出来た。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
診療に必要な機器の整備を計画的に行うことができています。 施設の老朽化に対する対応を計画的に実施する必要がある。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	医師確保対策の強化	所属	智頭病院	SDG s	3
事業（細目）名				事業番号	
総合計画	基本理念	安全安心に暮らせる健康長寿なくらし			
	視点	健康	事業番号	17	連番

R3年度

Goal(目標)	病院事業継続のため医師確保を図る。
Plan(事業概要・計画)	鳥取県・鳥取大学、その他関係機関への医師派遣要請 院内保育所の整備、医師住宅の確保 研修医、実習生への広報

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額		489,620千円			
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	研修医の受入	人	3	3	3	100%
②	学生の受入	人	0	1	0	-
③						
実施内容	研修医の受入時に智頭病院と智頭町での取組等をPRすることが出来た。					

R3年度

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	県派遣医師については、一定数を確保することは出来ている。 各機関へ医師確保の要請を継続した事により、新年度鳥取大学医学部から内科医の配置に結びついた。					

R3年度

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由：さらなる働きかけが必要。

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	若手、中堅、の医師確保のための取組の継続と、新たな視点が必要。 院長の招聘が急務である。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	学校給食費の無償化	所属	教育課	SDG s	1,3,11
事業（細目）名	学校給食費	事業番号	1215		
総合計画	基本理念	Ⅱ 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	①健康	事業番号	18	連番

R3年度

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	
<p>1. 町内の小学校、中学校に通う児童・生徒の保護者の経済的負担の軽減、子育ての支援。</p> <p>2. 令和2年度から学校給食を無償化し、小中学生の家庭の経済的負担を軽減するとともに充実した教育の一助とする。</p>	

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	26,039,000円			
	活動実績を示す指標	単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	学校給食の無償化（食材料代）	千円	21,165	26,600	26,068	123%
②						
③						
実施内容						
①令和3年度も給食費無償化を実施し、子育て支援に努めた。						

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・無償化により小中学生を有する家庭における教育費の負担を軽減し、公平で豊かな教育基盤づくりの一助となっている。 ・地元食材の活用や児童生徒の要望（人気メニュー等）を取り入れた学校給食を提供することで、食への関心を高め、健康な心とからだづくりを育んでいる。 						

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 給食費の無償化により、家庭における教育費の負担軽減が家庭教育の充実に繋がっている。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
引き続き、地元食材を活用しつつ栄養バランスの良い学校給食を提供し、楽しく充実した学校生活と、家庭での豊かな親子関係づくりに繋げたい。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	情報インフラの更新	所属	企画課	SDG s	9
事業（細目）名	地域情報化推進事業	事業番号	1879		
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	3	連番

R3年度

Goal(目標)	地域間の情報格差是正のため整備した光通信網の維持活用
Plan(事業概要・計画)	<p>○光通信網の維持管理、安定したサービス提供の実施。</p> <p>○既存設備に替わる次世代IP告知端末の機器更改、またこれに伴う情報通信基盤環境の構築。（地域の住民が日常的に使用することができる利便性の高い情報通信基盤の再構築。）</p>

R3年度

Do(実行)		R3実績額		438,364,638円		
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	光通信網の維持管理、安定したサービス提供の実施	件数	2,487	2,488	2,488	100%
②	新たな端末への機器更改件数	件数	0	2,488	2,300	-
③	新IP告知端末更改・利用促進にかかる説明会	集落	0	88	88	-
実施内容	<p>○新端末導入に向けた情報通信基盤の構築、早期戸宅設置でのサービス開始（アプリカスタマイズ含む）</p> <p>○工事分担金の一部補助・減免による利用者の負担軽減、高齢者見守り支援策の実施（お元気ですかメール）</p> <p>○新IP告知端末導入に合わせての設備内容・利用促進等に関する集落説明会の実施（他課職員の応援含む）</p>					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>○各集落説明会や広報・告知放送を通じ、新端末機能説明のほか早期更改に着手したことで年度内更改作業完了済み。○高齢者の見守り支援策として、お元気ですかメールを活用し、高齢者の安全安心に繋げる支援ができた。（福祉課連携）</p>					

R3年度

評価	A		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	A	評価理由： 告知端末の更新も順調に進捗しており、新たな機能も付加することで住民の利便性向上に寄与している。今後は使用方法など丁寧な説明の機会を設けるなどの対応が必要である。					

R3年度

Action(改善)	
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<p>○新型コロナウイルス対策を想定した新しい生活様式へ対応したアプリのUI改善の実施、他サービス（買い物支援・チラシ機能等）の運用開始による地元企業との連携のほか、住民生活の利便性向上を図る。○継続した高齢者の見守り支援、安定したサービス提供の実施。</p> <p>○高齢者のデジタルディバイド解消に向けたIP告知端末の利用促進、操作説明会等の定期開催の実施。</p>

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	道路新設改良事業	所属	地域整備課	SDG s	9	
事業（細目）名	道路新設改良事業	事業番号	1171			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	5	連番	54

R3年度

Goal(目標)	大内木下地区の急傾斜地崩壊対策の早期完成
Plan(事業概要・計画)	降雨や地震などに伴って発生する崖崩れ災害に対し、急傾斜地崩壊対策施設を鳥取県が施工。

R3年度

Do(実行)	R3実績額					3,222,841円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	全体事業の進捗状況	%	90	95	95	106%
②						
③						
実施内容	大内木下地区の急傾斜地崩壊対策施設を鳥取県が施工。					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	住民の生命・財産が守られている。					

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：住民の生命・財産を守るためにも欠かせない事業である。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
令和3年度で事業完了予定であったが、災害復旧対応で遅れが生じているようで令和5年度完了予定である。今後も必要に応じ、県へ事業実施を求めていく。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	社会資本整備総合交付金事業	所属	地域整備課	SDG s	9	
事業（細目）名	社会資本整備総合交付金事業	事業番号	1336			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	6	連番	55

R3年度

Goal(目標)	計画的な町道の改良整備
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・町道を整備し、住民の生活環境の向上、通学通勤時の安全確保、利便性の向上を図る。 ・町道除雪を委託し、冬期における住民の安全を確保する。

R3年度

Do(実行)	R3実績額	125,402,670円				
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	施行路線数	本	6	6	5	83%
②	除雪委託費	千円	9,000	9,000	18,660	207%
③						
実施内容						
<p>【現年分】ゆめが丘線（工事）、関屋黒本線（工事）、源平線（工事、測量・設計）、三田中田線（工事）、下向線（工事、測量・設計）、雪寒指定路線（除雪）を発注。関屋黒本線（工事）、源平線（工事）、三田中田線（工事）、下向線（工事）は繰越。</p> <p>【繰越分】下向線外4路線（工事）、下向線（用地買収）を実施。坂原1号橋外3橋橋梁修繕工事を実施※R3実績のうち、②除雪委託費18,660千円は17(63)除雪事業分へ</p>						

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・町道川戸穂見線の道路改良工事及び町道ゆめが丘線の道路新設工事については事業を完了した。 ・今後の事業実施の参考のため、候補となる路線をリストアップする必要がある。 						

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：住民の安心・安全な生活を確保するために欠かせない事業である。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ゆめが丘線及び川戸穂見線を除く昨年度の事業実施路線に関して、継続して事業を実施する。（2路線については事業が完了した。） ・新たに町道天木線、池本線の道路改良工事及び町道市瀬新道線の防護柵設置工事を実施する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地方創生整備推進交付金事業	所属	地域整備課	SDGs	9
事業（細目）名	地方創生整備推進交付金事業	事業番号	2010		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	②環境整備	事業番号	6	連番

R3年度

Goal(目標)	県営林道と接続する町道の整備による林業振興支援
Plan(事業概要・計画)	町道奥本河津原線及び町道木工団地線の道路改良、拡幅工事。

R3年度

Do(実行)		R3実績額			9,304,700円	
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	道路改良、拡幅路線	路線	1	2	2	200%
②						
③						
実施内容	町道奥本河津原線及び町道木工団地線の道路改良を発注。 町道奥本河津原線は繰越。					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	町道木工団地線の道路改良工事が完了し、林業関係大型車両の安全な通行が確保できた。					

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 県が実施する隣接する林道整備との相乗効果が期待できる。				

R3年度

Action(改善)	
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	町道奥本河津原線道路改良工事の継続実施。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	道路維持事業	所属	地域整備課	SDGs	9
事業（細目）名	道路維持事業	事業番号	1170		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	②環境整備	事業番号	6	連番

R3年度

Goal(目標)	町道の適切な維持管理を行い、住民の安全確保を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町道の維持管理を行い、住民生活の利便向上と安全確保を図る。 ・ 除草等の町道維持を行う集落・団体に交付金を交付する。

R3年度

Do(実行)	R3実績額					21,407,595円
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	修繕費・工事費	千円	10,688	12,950	21,407	200%
②	道路愛護	件	5	6	6	120%
③						
実施内容	町道関屋黒本線歩道舗装工事・町道山根中村線道路修繕工事・町道山田支線舗装修繕工事外 町道横田線・川戸穂見線・坂原線道路修繕外					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業により、町道の危険箇所の改善が果たされ、利用者の安全確保が図れた。 ・ 軽微な損傷箇所については、職員による直営修繕を実施した（経費削減）。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 修繕箇所が増加傾向にあり、後回し、見送りとなる案件がある。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 供用開始から30年以上経過している路線も多く、維持管理費が高むことが懸念される。 ・ 軽微な損傷については極力、直営修繕を実施し、経費削減に努める。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	公共施設等適正管理推進事業債事業	所属	地域整備課	SDGs	9
事業（細目）名	公共施設等適正管理推進事業債事業	事業番号	2095		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	②環境整備	事業番号	6	連番

R3年度

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	町道の点検を実施し、点検結果に基づき対象となる路線の舗装修繕（切削オーバーレイ等）を行う。 関屋黒本線・分谷線・源平線・川戸穂見線・分谷線・毛谷大内線

R3年度

Do(実行)		R3実績額		8,500,800円		
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	施行路線数	路線	2	6	6	300%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・分谷線、川戸穂見線、分谷支線の舗装工事の実施。 ・関屋黒本線、源平線、毛谷大内線の舗装工事については契約済み。R4年度へ繰越。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等適正管理推進事業債は令和8年度まで延長となった。 ・舗装修繕が可能で、より充当率・元利償還金に対する交付税措置率の高い事業に緊急自然災害防止対策事業債があるが、5箇年加速化対策事業との連携が必要である。 					

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：住民から要望のあった事業対象路線すべてに対応（中）できた。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	5箇年加速化対策事業（道路メンテナンス補助事業を含む）と同一路線又は接続路線においては、充当率・元利償還金に対する交付税措置率がより高い、緊急自然災害防止対策事業へ移行する。 それ以外の路線については、従前通り公共施設等適正管理推進事業債で行う。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	道路メンテナンス補助事業	所属	地域整備課	SDG s	9	
事業（細目）名	道路メンテナンス補助事業	事業番号	2094			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	6	連番	55

R3年度

Goal(目標)	町道橋梁の計画的な点検・補修による橋梁の長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	町道橋梁の計画的な法定点検（5年に1回）を実施し、適切な橋梁補修を行う。 定期点検結果を踏まえた長寿命化計画の策定・更新

R3年度

Do(実行)	R3実績額	71,463,100円				
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	橋梁修繕工事	橋	5	5	5	100%
②	橋梁定期点検	橋	2	46	46	2300%
③						
実施内容						
(現年分)						
新市瀬橋・野々谷橋・尾見大橋外の修繕工事設計業務委託を実施。 郷原橋・下早瀬橋・紅葉橋・金谷橋・野々谷線橋梁修繕工事を実施。（金谷橋を除く4橋は、R4年度へ繰越） 市瀬橋外橋梁定期点検を実施。						

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・町道橋の2巡目点検を完了した。 ・橋梁長寿命化修繕計画について、「新技術等の活用方針」・「費用の縮減に関する具体的な方針」の記載が要件化されており計画に盛り込む必要がある。 						

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：点検結果に沿った早期修繕対応により、経費削減が図れている。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・要件化された条件を満たすための橋梁長寿命化計画の変更。 ・健全度Ⅲと判定された橋梁に対して、優先度の高いものから橋梁補修を行う。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ふるさと整備土木事業	所属	地域整備課	SDGs	9
事業（細目）名	ふるさと整備土木事業	事業番号	1778		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	②環境整備	事業番号	7	連番

R3年度

Goal(目標)	集落の生活環境の向上・維持
Plan(事業概要・計画)	集落の生活環境を向上・維持するため、地元管理の道路及び水路等について整備・改良を行う。

R3年度

Do(実行)	R3実績額					10,093,600円
活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)	
① 実施件数	件	7	6	6	86%	
②						
③						
実施内容	申請件数9件 採択件数6件					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>・ 予算の範囲内で、採択集落を決定。工事の落札状況、進捗状況を勘案し、追加採択を検討するなど、流動的な予算執行が行えた。</p> <p>・ 地元要望も多様化してきており、本事業にそぐわない意見や指摘が多く見受けられるようになってきた。</p>					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 本事業の活用により、地元負担の軽減が図れている				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<p>・ 住民からの要望が直で事業化されるという特性上、工事段階から住民と綿密な話し合いが必要 (着手後、完了後のクレーム対応)</p> <p>・ 県交付金交付対象外案件の取り扱い</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	営業費用	所属	税務住民課	SDGs	6
事業（細目）名	修繕料	事業番号			
総合計画	基本理念	老朽管の更新を行い、長寿命化を図る。			
	視点	環境整備	事業番号	11	連番

R3年度

Goal(目標)	老朽管の更新を行い、長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメントを基礎として中期・短期の計画を作成し、継続的、計画的な施設の更新をおこなう。

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額					1,580円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	配水管補強工事	千円	0	1,580	1,580	—
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・配水本管の補強工事を実施。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・一部老朽管の長寿命化を図った。 					

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：老朽管の長寿命化を行ったため。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画				
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に施設更新計画（短期10年）を策定する予定であり、その計画に沿って更新事業を実施。 				

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	建設改良費	所属	税務住民課	SDG s	6
事業（細目）名	改良費	事業番号			
総合計画	基本理念	老朽化施設の更新を行い、長寿命化を図る。			
	視点	環境整備	事業番号	12	連番

R3年度

Goal(目標)	老朽化施設の更新を行い、長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメントを基礎として施設更新計画（短期10年）を作成し、継続的、計画的な施設の更新をおこなう。

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額					1,155円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	第2水源地ポンプ室扉修繕	千円	0	563	563	-
②	第1水源地電気設備修繕	千円	0	592	592	-
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化施設の修繕を行った。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に施設更新計画（短期10年）を策定予定のため、計画策定後に実施する。 ・老朽化施設の修繕を行った。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 老朽施設の修繕を行ったため。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に施設更新計画（短期10年）を策定する予定であり、その計画に沿って更新事業を実施する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	国・県・町の連携による通学路等の整備検討	所属	教育課	SDG s	11
事業（細目）名				事業番号	
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	13	連番

R3年度

Goal(目標)	児童生徒が安全に通学できるよう、通学路等の整備検討を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月末までに、学校とPTAが協力をし、通学路の安全点検を行う。 ・ 点検結果に基づき、危険個所の把握及び合同点検を行う。 ・ 整備個所を検討する。

R3年度

Do(実行)		R3 実績額			0円	
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	合同点検日数	日	1	1	1	100%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みを活用し、関係機関で合同点検を行った。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危険個所の把握及び改良点等の検討を行い、改良要望書の回答は、12月末までに取りまとめられる予定。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 関係機関が連携し、登下校ルート of 安全を確保している。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
小中学校及び保護者等の意見を取りまとめ、総務課が実施する交通対策会議と連携し、児童の登下校の安全確保に努める。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	安心・安全な町民バスの運行、更新	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	コミュニティバス運行事業	事業番号	1634		
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	15	連番

R3年度

Goal(目標)	老朽化が著しい車両の更新のほか、安心・安全な公共交通サービスを提供する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化した車両の更新（町民バス） ○町内路線バスの安全運行 ○共助交通導入及びすぎっ子バスのスクールバス化に向けた関係者協議・活用方法の検討

R3年度

Do(実行)	R3実績額					58,508,988円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	車両更新（すぎっ子バス）	台	0	0	0	-
②	町民バス事故・苦情件数	件	4	2	2	50%
③	共助交通導入・スクールバス化の検討（関係者協議）	回	6	7	9	150%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○町民バスの安全運行 ○共助交通導入及びすぎっ子バスのスクールバス化に向けた協議・検討の実施（関係課・シルバー・日ノ丸・共助交通組織構成員） 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○共助交通導入を進める中でスクールバス化を検討しているため、車両購入については本年度も更新を見送り。ただし、老朽化車両の大規模修繕が突発的に発生しており、今後運行会社とのより綿密な連携が求められる。 ○共助交通導入に向けては令和5年度開始で調整。○交通法規の遵守・ドライバーの教育・指導について随時実施 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 交通政策は全国的な課題であり、住民の利便性向上のためにしっかりと計画し、実行していく必要がある。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ○共助交通導入に合わせた関係課との既存町営バスの利用方法の検討（スクールバス化、スクールバス利用時間外での活用方法） ○県の補助制度等を活用した共助交通の導入、組織体制の構築、既存車両の定期的な車両状態確認・修繕（日ノ丸自動車のとの連携） ○ドライバー教育等の随時実施による安心安全な交通サービスの提供 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	公共交通機関の利用促進	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	交通政策事務費	事業番号	1636		
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	16	連番

R3年度

Goal(目標)	町民が利用しやすい公共交通を検討し、公共交通の利用促進に繋げる。
Plan(事業概要・計画)	<p>○公共交通の利用促進に向けたPR活動の実施（従来活動の見直し）</p> <p>○広域連携事業の課題・問題点を抽出</p> <p>○公共交通空白地有償運送運行支援の実施</p>

R3年度

Do(実行)	R3実績額					422,000円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	各種協議会への負担金支払い・協議会参加	団体	5	5	5	100%
②	連携中枢都市圏広域連携事業への参加	事業	8	7	9	113%
③	公共交通空白地有償運送サービス利用者の年会費負担	人	83	84	73	88%
実施内容	<p>○各協議会への負担金を通じて、公共交通利用促進に向けた広報・普及活動を実施</p> <p>○連携中枢都市圏における広域連携事業の計画等を審議（公共交通分野）</p> <p>○シルバー人材センターに対し公共交通空白地有償運送サービス利用者が負担する年会費の半額相当を支援</p>					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>○沿線市町が連携して時刻表や観光パンフレット・PRチラシを配布するなどの広報・普及活動により、幅広い世代に公共交通への関心を高めたほか、智頭線定期利用モニター助成など新たな利用促進活動を展開している。</p> <p>○各種公共交通における現状の課題を共有し、今後の取り組みについて意見を交わすことができた。</p>					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 本町の状況に鑑みてもこの事業は広域連携による取組でなければ難しい。観光を軸に意見交換を実施するほか、「ノルデ運動」などとの連携を要検討すべき。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画					
<p>○継続して町民が利用しやすい運行形態を模索するとともに、幅広い世代に対し親しみやすい公共交通の在り方を検討する。また、今般のコロナの状況を鑑み、真の利用促進を進める観点から、引き続き現状課題を分析・共有し、従来の活動（沿線市町村でのイベント支援を中心とした活動）からの見直しを検討する。</p>						

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	除雪事業	所属	地域整備課	SDG s	9
事業（細目）名	除雪事業	事業番号	1295		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	②環境整備	事業番号	17	連番

R3年度

Goal(目標)	冬期交通の確保を目的に、町道等の除雪を行う。
Plan(事業概要・計画)	・除雪計画に基づき、冬期積雪時の生活道路の除雪を行い、地域住民の安全安心に寄与する。

R3年度

Do(実行)		R3実績額			75,966,824円	
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	除雪委託料	千円	21,380	8,137	57,306	268%
②	除雪機械運転手育成支援	人	7	2	2	29%
③						
実施内容	除雪計画の策定（町道59路線 農道3路線 林道4路線 その他2路線 県道応援除雪路線2路線、5施設、） 除雪期間12月1日から翌年3月20日まで 事業所における除雪機械の運転手となる人材を育成し、事業所等へ免許取得費用の補助。					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	智頭町除雪機械運転手育成支援事業 1社 2名					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：住民の安心・安全な生活を確保するために欠かせない事業である。				

R3年度

Action(改善)	
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	・除雪計画路線に載っていない路線など、公助除雪が困難な箇所については自助、共助除雪が必須となっている。小型除雪機貸与事業継続など、自助、共助除雪への支援を行うと同時に、より良い公助除雪を模索し続ける必要がある。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	鳥取県東部広域行政管理組合による消防・救急体制の維持・充実	所属	総務課	SDGs	9
事業（細目）名	常備消防費	事業番号	1178		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	23	連番

R3年度

Goal(目標)	鳥取県東部広域行政管理組合による消防・救急体制を維持する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防・救急体制を充実させる。（組合への負担金支払い） ・ 智頭出張所を新築移転する。

R3年度

Do(実行)	R3実績額					123,336,000円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①						
②						
③						
実施内容						

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 町民の生命・財産に関わる事業であるため。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
・ 東部広域行政管理組合の方針による。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	災害対策体制の確立	所属	総務課	SDGs	9
事業（細目）名	防災費	事業番号	1181		
総合計画	基本理念	地域や家族のつながりをつくるまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	24	連番

R3年度

Goal(目標)	災害による死傷者を発生させない
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・国土強靱化地域計画の個別業務計画改訂

R3年度

Do(実行)	R3実績額					0円
活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)	
① 災害による死傷者数	人	0	0	0	-	
②						
③						
実施内容						

R3年度

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国土強靱化地域計画の個別業務計画の見直しを行い、事業との整合性を確認して必要な箇所を改訂した。 					

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 町民の生命・財産に関わる事業であるため。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
	<ul style="list-style-type: none"> ・支え愛マップづくりとからめ、防災マップの活用に注力する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者や一人暮らし家庭などの安全安心につながる見守り事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3
事業（細目）名	日常生活用具給付事業		事業番号	1308	
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	25	連番

R3年度

Goal(目標)	独居の高齢者が安全・安心に暮らせるようにする。
Plan(事業概要・計画)	・日常生活用具（電磁調理器等）の給付

R3年度

Do(実行)	R3実績額					0円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	電磁調理器貸与数	件	0	1	0	-
②						
③						
実施内容	・必要な世帯等への事業の説明等					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・電磁調理器の給付については、近年実績はないが、今後も継続が必要な事業である。					

R3年度

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：独居高齢者の安全・安心のためには必要な事業だが、啓発等検討が必要。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
・近年、給付の実績がないため、今後の方向性について検討していくべきである。	
・電磁調理器以外の物の給付や貸与の必要性について検証すべきである。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者や一人暮らし家庭などの安全安心につながる見守り事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3
事業（細目）名	高齢者等居住環境整備助成事業	事業番号	1469		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	25	連番

R3年度

Goal(目標)	独居の高齢者が安全・安心に暮らせるようにする。
Plan(事業概要・計画)	・高齢者が在宅で安心して暮らせるよう、住宅改修費の一部を助成する。

R3年度

Do(実行)	R3実績額				0円	
活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)	
① 高齢者等居住環境整備助成事業補助金	件	0	1	0	-	
②						
③						
実施内容	・住宅改修の相談等を受け付けた際に、事業説明等を行う					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・補助金の利用の実績はないが、相談等は受付けており、在宅生活には必要な補助事業となっている。					

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価	A	評価理由：高齢者にとっては必要な事業であり、細やかに対応している				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	・補助対象経費がわかりにくいことや、申請時や実績報告時の提出書類が複雑なため、簡素化等の検討が必要。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者や一人暮らし家庭などの安全安心につながる見守り事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3
事業（細目）名	支え愛体制づくり事業	事業番号	1991		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	25	連番

R3年度

Goal(目標)	独居の高齢者が安全・安心に暮らせるようにする。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・集落ごとに支え愛マップを作成し、有事の際の高齢者等の安全を確保する。

R3年度

Do(実行)	R3実績額					63,897円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	支え愛マップ作成集落（補助事業対象）	集落	1	3	2	200%
②	支え愛マップ作成集落（合計）	集落	58	61	60	103%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な集落等への事業の説明等。 ・作成に要する経費を町社協に対して補助する。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新規で作成した集落もあり、地域の支援体制づくりのために必要な補助事業となっている。 ・新規実施、見直し実施の集落からは、村づくりや支え合いの意識付けに繋がったとの意見が聞かれている。 ・未作成集落だけでなく、作成後数年が経過する集落への見直しの呼びかけも行う必要がある。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由：地域の支え合い体制づくりに寄与している。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの集落でマップづくりが進んでいる中、作成に前向きでない集落もある。そういった集落に対する周知・啓発が必要。 ・作成から数年経ち、マップの内容が現状に合っていない集落がある。見直し等の呼びかけが必要。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	自死対策事業	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	自死対策事業	事業番号	1913		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	連番	II-1

R3年度

Goal(目標)	誰もが自死に追い込まれることなく健康で生きがいをもって暮らすことができる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・自死対策を支える人材の養成 ・町民への啓発と周知 ・相談体制の整備と関係機関との連携強化

R3年度

Do(実行)	R3実績額					90,810円
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	自死者数	人	0	0	0	-
②	人材育成者数	人	31	40	29	94%
③	普及啓発物配布数	個	261	600	600	230%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自死者数 0 人 ・人材育成者数 29人（民生・主任児童委員） ・普及啓発物 600個作成・配布（小中学校、乳幼児健診時） ・9月自殺予防週間、3月自殺対策強化月間普及啓発活動 （告知端末放送、広報・ホームページ掲載、ほのぼの内掲示等） ・自死対策計画策定委員会2回開催・計画策定済 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・近年実施していなかったゲートキーパー養成講座を、3月の自殺対策強化月間に民生・主任児童委員を対象に実施した。 ・令和3年度は新たに、小中学校児童・生徒に対して普及啓発物品とともに啓発用のリーフレットを作成・配布した。 ・関係機関の助言・意見を得ながら自死対策計画を作成した。 ・住民に対して相談先の周知が不十分である。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由 ：計画策定をきっかけにした啓発や関係機関との連携・協力が生まれている。				

R4年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画					
<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成を民生・主任児童委員等の関係者だけでなく、一般住民にも広げていく。 ・自死対策計画に基づき、地域や関係機関と連携・協力しながら、啓発活動を発展させる。 ・住民に対する相談先の周知を強化する。 						

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	健康ポイント事業	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	健康ポイント事業	事業番号	2023		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	連番	II-2

R3年度

Goal(目標)	健康ポイント事業を通して健康への意識を高め、元気で長生きできるまちづくり				
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキンググループへの登録通知（4月） ・広報で住民に周知（4月） 				

R3年度

Do(実行)	R3実績額					199,636円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	ポイント引き換え者数	人	100	180	148	148%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキンググループへの登録通知（4月） ・広報で住民に周知（4月） ・20ポイント達成者には杉小判1,000円と引き換え 					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング実施者にウォーキングポイントを付与 ・達成者の中から抽選で5名に杉小判5,000円プレゼント 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>今年度より、個人でのウォーキング実施者もポイント付与の対象となった為、新規参加者が増加。</p> <p>個人でのウォーキング実施に対するポイントの付与制度をより周知して頂く為に、さらなる広報活動が必要。</p>					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由：啓発、見直しにより新規参加者の増加があった。若年者への取組が課題。				

R3年度（11月末に記入）

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画				
	<ul style="list-style-type: none"> ・個人でのウォーキング実施者に対するポイントの付与制度を広報及ホームページ掲載により住民に周知。 				

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ぜん息児等機能回復支援事業	所属	福祉課	SDG s	3	
事業（細目）名	ぜん息児等機能回復支援事業	事業番号	1419			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	連番	II-3	

R3年度

Goal(目標)	温水プールを利用することにより身体の機能回復を促進し、健康で明るい生活を送る
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・申請者への助成券の発行 ・広報で住民に周知（4月号）

R3年度

Do(実行)	R3実績額					457,670円
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	利用者数	人	186	214	160	86%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・申請者への助成券の発行 ・広報で住民に周知（4月号） 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>利用者数は横ばい傾向。乳幼児健康診査時に温水プールの紹介を実施（リプル職員が実施）。</p> <p>現状、利用人数による評価のみであり、今後は利用者の満足度調査等の別視点での評価が課題となる。</p>					

R3年度

評価	A		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価	A	評価理由：啓発に努め、利用者の健康づくりに繋がっている。					

R4年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<p>広報で周知。</p> <p>助成額等は変更しない。</p>

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	歯科保健事業	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	歯科保健事業	事業番号	1110		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	連番	II-4

R3年度（4月記入）

Goal(目標)	口腔の健康の保持・増進、歯科口腔保健に関する健康格差の縮小
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児を対象とした歯科健康教育の実施 ・ 歯科保健情報交換会の開催 ・ 乳幼児歯科健診要指導、要治療者への受診勧奨、フォロー

R3年度

Do(実行)		R3実績額		129,000円		
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	歯科健康教育の実施	回	0	12	12	#DIV/0!
②	歯科情報交換会の開催	回	0	1	0	#DIV/0!
③	要指導者への受診勧奨、フォロー	人	0	5	3	#DIV/0!

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳歯の虫歯は永久歯にも影響するため、保育園で幼児を対象に健康教育を実施し、保護者への啓発も行う。 ・ 広報紙、告知端末等で住民へ周知し、歯周疾患検診（40.50.60.70歳の節目健診）及び後期高齢者歯科健診の受診者の増加を図る。 ・ 歯科医、学校歯科保健関係者、教育課等の関係機関との歯科情報交換会を行い、智頭町の歯科保健対策を包括的に実施できるようにする。
------	--

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E

成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園で幼児を対象に歯科健康教育を毎月1回行い、保護者への啓発を実施（延べ794名）。 ・ 歯周疾患検診及び後期高齢者の歯科健診について広報紙、告知端末等周知を行い、歯周疾患受診者数が増加。（歯周疾患検診受診者57名、後期高齢者歯科健診受診者2名） ・ 歯科情報交流会はコロナ感染防止のため、今年度の開催は中止とした。
-------	---

R3年度

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由：対象者、ライフステージ等に併せた事業展開を行えた。

R4年度

Action(改善)	<p style="text-align: center;">R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯周疾患検診の受診率は20%に満たない現状であるため、未受診者勧奨等を行い受診者を増やす取り組みが必要。後期高齢者の歯科健診についても受診者を増やすための周知方法等を見直す必要がある。 ・ 歯科情報交流会については、町の課題を明確にし、関係者で検討できるように準備しておく。
------------	---

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	任意予防接種事業	所属	福祉課	SDG s	3	
事業（細目）名	各種予防接種	事業番号	1093			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	連番	II-5	

R3年度

Goal(目標)	感染症の予防
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・小児インフルエンザは対象者（1歳～12歳）に個別通知（9月）。 ・流行性耳下腺炎の助成は乳児健診の際に周知（毎月）。

R3年度

Do(実行)		R3実績額				1,143,000円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	小児インフルエンザ接種人数	人	444	500	368	83%
②	助成申請した者の流行性耳下腺炎接種者数	人	9	15	13	144%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小児インフルエンザは9月末に個別通知。10月から1月に鳥取県の医療機関に委託して実施。 ・流行性耳下腺炎の助成は乳児健診の際に周知。智頭病院と長石医院に委託して実施。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度からインフルエンザの助成額を1,000円から3,000円に増額。 ・令和3年度から流行性耳下腺炎の助成額を2,100円から3,000円に増額。 ・インフルエンザはワクチン不足のため前年度よりも接種者数が低い結果になったと考える。 ・助成額の増額により、任意予防接種を経済的に接種しやすくするための体制を整えることができた。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：より接種を受けやすい体制づくりに務めている。				

R4年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、任意予防接種を経済的に接種しやすくするための体制を維持するため、同様の助成額を維持する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	障がい者歯科診療所運営支援事業	所属	福祉課	SDGs	3
事業（細目）名	障害者福祉費	事業番号	1385		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	連番	II-6

R3年度

Goal(目標)	障がい者の口腔健康の維持・向上を図る
Plan(事業概要・計画)	障がい者に対して歯科診療、歯科保健指導等を行う障がい者歯科診療所の運営に要する経費の一部を、鳥取県東部圏域の1市4町共同で補助することにより、障がい者の口腔健康の維持・向上を図り、障がい者福祉の増進に資することを目的とする。

R3年度

Do(実行)	R3実績額				8,000円	
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	歯科診療	日	48	51	43	90%
②	保健指導	日	40	40	39	98%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週木曜日午後に鳥取県口腔総合保健センターにて歯科医師会所属の医師が診療を行う。 ・毎週火曜日午後に鳥取県口腔総合保健センターにて歯科医師会所属の医師が保健指導を行う。 ・令和2年度の智頭町からの利用は0名。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>当事業で実施している診療を東部圏域外の市町村からも利用している者がおり、その分の実績を各市町村が按分して追加負担している状況であり、費用が適正とは言いがたい点がある。利用実績が少ないため事業の周知が課題である。</p>					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 利用実績は少ないが、障がい者にとって制度、しくみは必要。啓発が必要				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	各市町村の負担の公平性を保つため、令和2年度中に、取りまとめを行う鳥取市より利用者がある東部圏域外の市町村へも令和3年度より負担をしてもらうよう依頼を行ったが合意には至らなかった。今後も利用状況を確認し、継続して利用があるようであれば、再度負担を求める事を他市町と協議し検討する。対象者への周知徹底を行うため広報

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	みんながみんなを支える持続可能な交通システム構築事業	所属	企画課	SDG s	11
事業(細目)名	地方創生推進事業	事業番号	2032		
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	新	連番

R3年度

Goal(目標)	すべてに人に寄り添える持続可能な交通体系の構築
Plan(事業概要・計画)	<p>○智頭町地域公共交通計画を基に新たな交通体系の構築や共助交通の導入に向けた組織体制づくり</p> <p>○次世代IP告知端末×AIデマンドバスサービス外部連携によるAIデマンドバス実証実験の実施(山形・山郷地区)</p> <p>○共助交通を導入している先進地の視察</p>

R3年度

Do(実行)	R3実績額					8,219,800円
活動実績を示す指標		単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	関係団体との意見交換・課題抽出	件数	9	6	7	78%
②	AIデマンドバス実証実験実施	地区	2	2	2	100%
③	共助交通導入自治体への先進地視察	団体	0	1	1	-
実施内容	<p>○共助交通導入に向けた運営組織の体制づくりの検討(各種交通事業者・地域自治組織等との連携)</p> <p>○山形・山郷地区をモデル地区としてAI乗合タクシーの実証実験を11月~12月に実施(各世帯への端末整備状況下での実証実験) ○共助交通導入先進地視察の実施</p>					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>○共助交通導入に向け、関係者との組織体制・運行体制について継続協議中。</p> <p>○AI乗合タクシー実証実験を通して告知端末の操作性や運行体制の課題点等を検証。今後はR5本格導入に向け、システムバージョンアップによるUI向上、新たな交通体制施策としての住民への効果的な周知・説明が必要。</p>					

R3年度

評価	A
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	A
----	---

評価理由:	課題はあるものの地域公共交通計画に基づき、実現に向け計画通りに進捗している。本格運行に向けしっかりと準備すること。
-------	---

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<p>○共助交通組織の立ち上げや運営方法等について引き続き関係団体と協議を行う。○令和3年度事業での課題点解消に向け、システムバージョンアップのほか、住民・ドライバーニーズの把握、端末の操作性向上を図る。○広報活動を通じて早期ドライバー確保を行うとともに、秋頃を目途に全町での実証実験を実施し、R5本格導入向けスムーズに移行できるよう、新たな交通体制を効果的・効率的に住民に周知する。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	行政手続きのスマート化	所属	総務課	SDG s	11
事業（細目）名	行政情報システム推進費	事業番号	1517		
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	② 環境整備	事業番号	新規	連番
					II-8

R3年度

Goal(目標)	テレワーク環境整備と行政手続きのスマート化
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなテレワーク環境整備検討 ・テレビ会議システムの導入 ・電子申請システムの有効活用

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額		18,704,400			
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	テレビ会議システム導入	施設	6	8	8	133%
②	電子申請システム取扱事務数	件	5	6	6	120%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク環境整備及びテレビ会議システム導入事業の実施 ・電子申請システムの登録方法を学び、職員に普及していった。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク環境整備検討及びテレビ会議システム導入済み 					

R3年度

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由：環境整備は完了。今後一層デジタル化による行政サービスの効率化を図る。

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	各職員が行う住民サービスを再度見直し、手続きがスマートにできる方法がないか検討する機会をつくる。電子申請システムの更なる推進を全庁的に行う。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町有財産の適正な管理	所属	総務課	SDG s	11
事業（細目）名	財産管理費	事業番号	1007		
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	② 環境整備	事業番号	新規	連番
					II-9

R3年度

Goal(目標)	町有財産の適正な管理と、PFI導入検討による民間活力の活用
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ FM委員会開催（公共施設管理及び、PFI検討） ・ 公共施設等総合管理計画の見直し ・ 固定資産台帳の整理

R3年度

Do(実行)					0円	
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)
①	公共施設等総合管理計画の見直し	施設	0	1	1	-
②	PFI検討数	件	0	1	1	-
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ PFI検討委員会開催 ・ 優先的検討規定策定に向けた活動 ・ 固定資産台帳、個別施設計画を整理し、公共施設等総合管理計画を見直し 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ PFI検討委員会を5回開催(優先的検討規程策定) ・ PFI研修（リモート）及び鳥取県プラットフォームセミナーに参加。活動をプレゼン。 ・ 公共施設等総合管理計画見直し 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 優先的検討規定策定に向けた活動及びPFIの具体的検討ができたため				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
<p>平野邸のサウンディングをR4.1月に開催したが、参加者がなかった。</p> <p>PFI検討委員会を核として、すぐにアクションできることを積み重ねていくことと、公共施設を民間利用いただく場合の障壁の解消方法等を検討していく。具体的にはアスベスト、耐震対策等。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	公共料金のコンビニ納付事業	所属	税務住民課	SDGs	9
事業（細目）名	公共料金のコンビニ納付事業	事業番号	1028・1031		
総合計画	基本理念	公共料金のコンビニ納付			
	視点	環境整備	事業番号	連番	II-10

R3年度

Goal(目標)	公共料金のコンビニ納付
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 公共料金のコンビニ納付の実施

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額				0円																		
活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)																		
① 公共料金のコンビニ納付	円	-	随時	下記	-																		
②																							
③																							
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 公共料金のコンビニ納付の実施 R3.4.1～R4.3.31 実績 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">上水道</td> <td style="padding-left: 20px;">454件</td> <td style="padding-left: 20px;">1,539,300円</td> <td style="padding-left: 20px;">4税</td> <td style="padding-left: 20px;">2,013件</td> <td style="padding-left: 20px;">30,773,800円</td> </tr> <tr> <td>公共下水</td> <td>394件</td> <td>1,821,220円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>農集排</td> <td>99件</td> <td>430,410円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 					上水道	454件	1,539,300円	4税	2,013件	30,773,800円	公共下水	394件	1,821,220円				農集排	99件	430,410円			
上水道	454件	1,539,300円	4税	2,013件	30,773,800円																		
公共下水	394件	1,821,220円																					
農集排	99件	430,410円																					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p style="text-align: center;">普通徴収者のコンビニ納付により、現年度徴収率の向上が見込める。</p>					

R3年度

評価	A		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	A	評価理由： 納付の利便性が高まり、収納率の向上に貢献					

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	各種証明書のコンビニ交付事業	所属	税務住民課	SDG s	9
事業（細目）名	各種証明書のコンビニ交付事業	事業番号	1028・1031		
総合計画	基本理念	各種証明書のコンビニ交付			
	視点	環境整備	事業番号	連番	II-11

R3年度

Goal(目標)	各種証明書のコンビニ交付事業
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 各種証明書のコンビニ交付事業

R3年度

Do(実行)	R3実績見込額					0円
活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績見込)	対前年比(%)	
① 各種証明書のコンビニ交付	件	-	随時	下記	-	
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 各種証明書のコンビニ交付 R3.10.11 スタート 3月末 住民票 41通 10,250円 印鑑証明 41通 10,250円 税証明 3通 750円 					

R3年度

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p style="text-align: center;">令和3年度中に計画どおり立ち上げることができた。今後も住民周知を図る。</p>					

R3年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 閉庁時等でも証明取得が可能。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	利用拡大を図るため、周知を拡げる。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康づくりのための生涯スポーツに取り組める環境	所属	教育課	SDG s	3	
事業（細目）名	スポーツ推進事業	事業番号	1211			
総合計画	基本理念	Ⅱ 安心・安全に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	新規	連番	Ⅱ-12

R3年度

Goal(目標)	スポーツの指導・普及・事業の企画・運営を行い、スポーツを通じた活動を促進していく。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会や総合型地域スポーツ（スポねっとちづ）と連携した体育事業等の活動を行う。 ・ 子どもから高齢者まで幅広い方が気軽に運動と触れ合っていたり機会を設ける。

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	1,158,000円			
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	スポーツ推進委員協議会定例会	件	9	11	11	122%
②	体育事業への参画	件	0	3	2	-
③	ニュースポーツ大会・体験会の開催	件	0	2	2	-
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースポーツの紹介及びスポーツ推進委員の紹介チラシを作成（町内全戸配布） ・ ニュースポーツの指導（2件） 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体育事業の中止やニュースポーツ大会・体験会の実施ができなかった。 ・ 定例会で協議を重ね、「子どもから高齢者まで楽しめるニュースポーツの紹介」と題して、チラシを作成して全戸配布を行った。 ・ 今後も新型コロナウイルスの影響が考えられるため、日常的に行える運動など立案や推進に取り組む必要があると考える。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：幅広い世代の体力増進に繋がる体験型スポーツの機会を設けている。				

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍においても行える運動の推進やイベントの開催方法を検討しながら活動していく。 ・ 研修会参加等によるスポーツ推進委員としての資質向上を図る。 ・ 地域と密着した活動を深めながら町民の健康づくりを推進する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康づくりのための生涯スポーツに取り組める環境	所属	教育課	SDG s	3
事業(細目)名	体育振興費	事業番号	1212		
総合計画	基本理念	II 安心・安全に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	新規	連番

R3年度

Goal(目標)	各団体と地域・学校が連携して各種体育事業を展開することで町民の健康づくり、スポーツ活動の充実を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会を通じた各種体育大会等の開催委託及び体育協会の活動支援によるスポーツ活動の充実を図る。 ・ 総合型地域スポーツクラブ(スポねっとちづ)の活動支援による町民のスポーツ環境の充実を図る。 ・ 町スキー祭を開催し、本町の子どもレベルアップを図る。

R3年度

Do(実行)	R3 実績額					3,911,000円
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	体育協会理事会	件	3	3	3	100%
②	総合型地域スポーツクラブ(スポねっとちづ)運営委員会	件	5	5	5	100%
③	町スキー祭	人	50	40	40	80%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会委託事業各種体育大会を新型コロナウイルス対策を講じたうえで実施。(2競技実施済、2競技実施予定) ・ 町スキー祭新型コロナウイルス対策を講じたうえで実施予定。(感染拡大状況によっては中止する場合もある) ・ 各種スポーツ団体の活動支援を実施。 					

R3年度

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会委託事業の町民体育祭は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止とした。 ・ 総合型地域スポーツクラブ主催のチャレンジ教室開催に向けて協議を重ねたが感染拡大防止のため、開催に至らなかった。 ・ 体育事業を展開するうえで新型コロナウイルス対策を講じるとともに競技内容を見直すなどの工夫が必要。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： スポねっとの活動支援により子どもたちの体力・技能向上に繋がっている。				

R3年度

Action(改善)	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育事業を展開していくうえで安心・安全に実施できることを考え、競技内容等の見直しを行う。 ・ 各団体と地域・学校が連携して体育事業を展開することで町民の健康づくり、スポーツ活動の充実、コミュニティの形成を図る。 ・ 各種スポーツ団体の活動支援を継続して行い、体育振興を促進する。 						

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康づくりのための生涯スポーツに取り組める環境	所属	教育課	SDG s	3
事業（細目）名	体育施設管理費	事業番号	1217		
総合計画	基本理念	Ⅱ 安心・安全に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	新規	連番

R3年度

Goal(目標)	適宜、必要な修繕・改修を行い、施設の機能維持及び長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設の緊急性の高い部分を修繕し、施設の機能維持及び長寿命化を図る。 ・社会体育施設の整備、環境の充実に努め、利用促進を図る。 ・経年劣化の進んだ社会体育施設備品の更新を行う。

R3年度

Do(実行)		R3 実績額	27,512,000円			
活動実績を示す指標		単位	R2(実績)	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	維持管理する体育施設	施設	4	4	4	100%
②	修繕による適正な施設運営	施設	2	2	2	100%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・温水プール自動制御機器の取替修繕及び誘導灯器具の取替修繕等の予定していた修繕を実施。また、危険箇所や緊急性を要する修繕を実施。 ・月に1回以上の施設巡回を行い、環境整備を実施。 ・温水プールの経年劣化による備品の更新を実施。 					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ団体及び町民の施設の利便性向上のため、適正な修繕及び維持管理を行った。 					

R3年度

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由： 体育施設のメンテナンスを行いつつ、施設・設備等を有効に活用している。

R3年度

Action(改善)	
R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・NSIリプルの利活用を拡充させるため、スポーツ用品の更新及び修繕を行い、会員及び利用者数の増加を図る。 ・施設の維持管理に要するコストを削減するため、総合グラウンドを新電力へ切り替える。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者の生きがいと健康づくり事業	所属	福祉課	SDGs	11
事業(細目)名	在宅福祉対策事業費	事業番号	1068		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	②環境整備	事業番号	25	連番

R3年度

Goal(目標)	高齢者ができる限り自立し、生きがいを持ち、安心して暮らせる社会づくりの推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭町在住の高齢者に対する生きがいと健康づくり、支え合いに関する事業を、智頭町社会福祉協議会に委託して実施

R3年度

Do(実行)	R3実績額					830,379円
	活動実績を示す指標	単位	R2	R3(計画)	R3(実績)	対前年比(%)
①	健康活動	回	13	17	14	108%
②	学習リーダー研修	回	13	16	15	115%
③						
実施内容	健康活動として、健康増進大会(ウォーキング大会)、健康教室・男の料理教室(地区ごと)の開催や、東部地区高齢者健康運動会への参加。学習リーダー研修として、リーダー研修会、交通安全教室・同和研修(地区ごと)の開催や、県主催各種研修会への参加。					

R3年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症感染防止対策等により、事業を中止することもあり、例年どおり実施できていない。 ・会員数の減少が進んでおり、新規会員の加入を推進する必要がある。 					

R3年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 高齢者の生きがいづくりや健康増進に繋がっている				

R3年度

Action(改善)	
	R3実施内容の改善及び見直しの上、R4の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ会員が年々減少しており、引き続き、新規会員の加入を推進する必要がある。 ・新型コロナ対策により、R3前半は予定どおりに事業を実施できなかったが、感染症対策を行うことで、後半には実施できた事業もあった。高齢者の生きがいと健康づくりのため、次年度以降も継続した支援が必要。